

16 平和と公正をすべての人に



17 パートナーシップで目標を達成しよう



1 貧困をなくそう



伝えたい想い 未来につなぐ架け橋

「平和」と聞いて、何を思い浮かべますか？
「平和」はずっと続くと思えますか？

過去を知り、^{いま}現在を見つめ、
共に学び、未来に発信しませんか。

2 飢餓をゼロに



10 人や国の不平等をなくそう



5 ジェンダー平等を
実現しよう



4 質の高い教育を
みんなに



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

■講座：全9回（1講座約90分）

■会場：飯田市平和祈念館（旧飯田駅前ピアゴ内：5月中旬頃オープン予定）

■開催方法：基本は対面で開催。新型コロナウイルス感染状況によりオンライン参加も可能。

■対象：平和・人権・多文化学習や地域学習に関心のある高校生、若者

■参加料：無料

■申し込み期限：令和4年4月21日（木）それ以降も随時申し込み可能。

■申し込み先・お問い合わせ先

飯田市教育委員会 生涯学習・スポーツ課 担当：矢澤

電話：0265-22-4511 内線3742 メール：shougai@city.iida.nagano.jp



申し込みQRコード

【第1回】4月30日（土）10時～11時30分 会場：市役所本庁舎C313会議室

・本ゼミナールの説明、グループワーク

講演

「高校生、若者が平和について考える、学ぶとは？」

講師：東京都立大学特任教授 宮下与兵衛先生

【第2回】5月29日（日）10時～11時30分 ・先行事例の発表、グループワーク

・発表者

木村優也さん（飯田下伊那百計画実行委員会の立ち上げを通じた活動について）

紫芝 真さん（登戸研究所調査研究会と平和ゼミナールの活動について）

【第3回】6月12日（日）10時～11時30分 ・先行事例の発表、グループワーク

・発表者

田代直己さん（カンボジアスタディツアーを通じた貧困と教育について）

大平一真さん（東北支援活動、満蒙開拓、コスタリカスタディツアーを通して平和を考える活動）

【第4回】8月11日（木・山の日）13時～16時 ・フィールドワーク

満蒙開拓平和記念館見学（松川高校ボランティア部による展示ガイド）

寺沢秀文館長の講話、「鎮魂の夕べ」の参加

【第5～8回】9～2月 参加者の希望講座の実施

例：地元戦争体験者や帰国2世・3世についての話、戦争遺跡の見学、

多文化・共生、国際理解・教育、貧困・こども食堂、環境問題、SDGs、

JICA駒ヶ根の見学や帰国隊員の話、コロナ禍の人権

【第9回】3月 ふりかえり、意見交換、次年度に向けて

飯田市における市有施設の対応について

対象期間：令和4年3月7日(月)～

感染警戒レベル	対応
6	原則休館（※） 注）感染状況により、屋外施設や入場制限可能な観覧施設は開館する場合がある
5	屋外施設：使用可 屋内施設：定員の半分かつ2時間以内の利用に限り、使用可 注1）学校施設の体育館や校庭、美術博物館プラネタリウムは原則使用不可 注2）施設によっては使用者の制限を設ける
4	屋外施設：使用可 屋内施設：定員の半分の利用に限り、使用可
1～3	感染予防対策を徹底のうえ、使用可

※感染状況により、閉館とする場合もあります。

※感染予防対策の徹底の上、以下については利用可能

- 地域協議会やまちづくり委員会などの地域自治活動
- 図書館(中央・上郷・鼎のみ)での本の貸出
- すでに利用予約をしており、開催の中止や延期が不可能な場合
- 制限期間中に実施する必要があると飯田市が認めるもの

【感染予防対策】

■ マスクの正しい着用 ■ 室内の換気 ■ 飲食の制限 ■ 手洗い・手指消毒

- 3密を避ける □ 咳エチケットの徹底 □ 利用者の把握 □ 密集人員の縮小
- 利用者の待機整理（入場時の検温など） □ 発熱固めの閉鎖 など

新型コロナウイルス感染症

飯田市が主催する行事・イベント等の対応について

対象期間：令和4年3月7日(月)～

【感染警戒レベル1～6共通】 基本的に長野県の対応に準ずる

- 参加人数が5,000人を超える かつ 収容率が50%超えとなる行事・イベントは、
「感染防止安全計画」を策定し、事前に県に提出のうえ実施
→ 飯田市では屋外で行う場合も提出する
- その他の行事・イベントは感染防止対策「チェックリスト」を作成し、
HP等で公表のうえ実施